

(様式2)

2018年度 教育活動活性化提案事業 実施結果報告書
(最終報告)

2019年 4月 2日

福岡女子大学学長 殿

申請者 所属名 共通教育機構
職名 講師
氏名 都地 沙央里



事業名 (テーマ)	学術英語小論文製本事業		
事業実施者及び 事業分担者	増山みどり	大学院生及び 学外協力者等	なし
活動内容及び成果(必要に応じ資料、写真等を添付すること) ※この欄の記載は、大学ホームページ等にそのまま掲載する予定です。 (活動内容) 本事業は、学術英語プログラム(以下、AEP)の必修科目である、「アカデミック・ライティングIV」において、学生が執筆した2000語程度の英語論文を、教員の情報共有および学生の参照のために、製本としてまとめることを意図したものである。 当初予定していた事業の内容は、以下の四点である。 (1) AEPの定めるライティングのフォーマットをPDFファイルで作成し、同科目の担当教員に配布する。 (2) 全クラスの論文を収集し、編集・製本する。その際、データ記入及び編集作業は依頼し、行う。 (3) 製本した冊子はAEP事務室や図書館等に配架し、AEPのライティング担当教員や、AEP以外の教員も参照できるようにする。 (4) 各学科の論文の中から特に優れたものを精撰し、今後の受講生のためのモデルエッセイを作成する。 この事業は、学生が課題に取り組むことを容易にするとともに、AEPの授業と学生による論文の質を高めることに資するものである。 (成果) 限られた予算の中で、上記(2)にあるように、全学生のエッセイを編集し製本することはできなかった。そのため、(4)にあるように、各学科の中から特に優れたエッセイを数編選び、多様なテーマで構成されるように配慮し、モデルエッセイの製本を作成した。学生が参照できるよう、AEP事務室と控室に配下されており、今後図書館にも所蔵される予定である。 AEPの定めるフォーマットは、ホームページに掲載済みであり、アカデミック・ライティングIVを履修する学生に周知し活用していく。今後の課題として、教員の参照を容易にするため、モデルエッセイをPDF形式でも作成し、ライティング担当の教員たちが共有できるようにしたい。			



事業費の交付決定額(円)

50000 円

事業費の決算額(円)(領収書を添付すること)

8601 円

事業費の決算額の内訳(円)

費目	品名、仕様など	金額
消耗品費		
印刷製本費	エッセイ製本(6冊)	8,601
旅費交通費		
通信運搬費		
備品費		
その他		
	合 計	8,601

※費目等は適宜追加・削除すること